

令和6年度 学校経営計画

長生村立一松小学校

1 学校教育目標

「自ら学び、心豊かに、たくましく生きる児童の育成」

(1) めざす児童像 [にこにこ笑顔・わくわく感動・こつこつ努力]

【かしこく】 自ら学び、自分の考えを表現できる子

- 〈具 体 像〉
- ・やる気を出して学習に取り組む子
 - ・学んだことを進んで表現し、活かすことができる子
 - ・世界や将来などの広い視野をもって考える子

【やさしく】 心豊かで、思いやりのある子

- 〈具 体 像〉
- ・元気で、心のこもったあいさつができる子
 - ・相手の気持ちを考えた言動ができる子
 - ・長生村が大好きで、学校やみんなのために行動できる子

【たくましく】 自分を大切にし、自分の良さを伸ばす子

- 〈具 体 像〉
- ・命を大切にする子
 - ・夢と目標をもち、その実現に努力する子
 - ・健康で安全な生活に心がけ、進んで体を鍛える子

(2) めざす学校像 [やるよ！一松]

- ◎ 輝く学校 (児童が輝く、教職員が輝く、地域に輝く)
- ◎ 園小中一貫教育を推進し、安心・安全で楽しい学校
- ◎ 清潔で、整理整頓され、教育環境の整った学校

(3) めざす教職員像 [チーム！一松]

- ◎ 心身共に健康で、愛情と情熱をもって児童に接し、信頼される教職員
- ◎ 児童一人一人の個性を理解し、良さを伸ばす、授業で勝負する教職員
- ◎ 組織の一員として、責任感と協調性をもち、互いに高め合う教職員

2 学校経営の方針

- ① 地域に愛され続けてきた一松小学校の伝統を基盤に、社会の変化に柔軟に対応し、たくましく生きることができる「生きる力」を身に付けさせる。
- ② 園小中一貫教育を推進し地域・保護者及び村内小中学校・こども園と連携を深め、地域の伝統や文化などの特色を生かしながら社会に開かれた教育課程を編成する。
「コミュニティー・スクール」が3年目になり、「地域学校協働本部」の体制づくりを進めていく。
- ③ 全教職員が「めざす児童像」の実現に向かって力を合わせて学校経営に参画し、学校教育目標の具現化を図る。(行事計画、目標申告などに反映させる。)
- ④ 生命尊重の精神を基本とし、健康安全教育及び防災教育を推進する。
- ⑤ インクルーシブの理念を生かした組織的な特別支援教育の推進に努める。
- ⑥ グローバル化に対応し、ICT(タブレット・電子黒板を含む)を効果的に活用する。

3 重点目標

(1) 学力の向上と個に応じた教育の推進

- 地域の学習素材や体験的な学習、問題解決的な学習を通して、児童に「学ぶ楽しさ」を味わわせ、主体的に学ぶことができる能力や態度を育てる。
- グローバル化、情報化等に対応した教育及び読書活動の充実に努める。
- 学習意欲や学習効果を高めるための評価を工夫し、全ての児童が評価規準に到達できるように指導法の工夫に努める。
- 授業における言語活動を充実する。
 - ・授業での意見の発表や意見交換を行い表現する。
- 複数の指導者による協力的指導、個別指導を充実する。
 - ・児童の個性の理解
 - ・効果的な指導の協議
 - ・高学年における教科担任制実施
 - ・学級担任と学習サポーター、学習指導支援員、特別支援教育介助員の連携
- 「学習習慣・基本的ルール」の定着に努める。
 - ・園小中一貫教育のもとで推進する。
- 体験学習を重視し、深みのある学習活動を推進する。
 - ・自然体験(1年)
 - ・村探検(2年)
 - ・地域探検(3年)
 - ・公共施設見学(4年)
 - ・工場見学(5年)
 - ・歴史体験(6年)
 - ・理科科学実験教室等
- チャレンジタイム(朝自習)を充実する。
 - ・国語(漢字)、算数(計算)等のドリル学習
- 読書指導を充実する。
 - ・読書の奨励と図書室の活用
 - ・図書日より
 - ・読み聞かせ活動
 - ・「子供新聞」の活用

(2) 豊かな人間性を育む教育の推進

- 教育活動全体を通して児童と教師、児童同士の人間関係を深め、豊かな体験を通して内面に根ざした道徳性を養う。道徳科を要として各教科や特別活動との関係を密にし、道徳的実践力の向上に努める。
- スクールカウンセラーを活用した「教育相談」の充実を図る。
- あいさつ運動を推進する。
【あ：あかるく い：いつも さ：さきに つ：つづける】
- 基本的な生活習慣の定着に努める。
 - ・園小中一貫教育のもとで推進する。
- 道徳の授業を充実する。
 - ・自己を振り返り、生き方の考えを深める。
- 人や自然と関わる体験活動を充実する。
 - ・自然体験(1年)
 - ・村探検(2年)
 - ・福祉ゆうあい訪問(3年)
 - ・公共施設見学(4年)
 - ・宿泊学習(5年)
 - ・修学旅行(6年)
- 異学年交流活動を推進する。ー上級生へのあこがれと上級生としての誇りー
 - ・1年生を迎える会
 - ・縦割り清掃
 - ・部活動
 - ・6年生を送る会
 - ・委員会活動
 - ・クラブ活動
- キャリア教育を充実させる。
 - ・将来の夢や希望を持たせる。
 - ・知・徳・体の調和のとれた発達を形成する。
 - ・キャリア教育の視点で教育活動を見直す。
- 一人一人の個性・能力にあった指導を展開し、日々の指導の過程や成果について、保護者や関係機関との連携を密にし、適切な指導にあたる。
- 一人一人の障害の状態や教育的ニーズ等に応じた合理的な配慮の提供に努める。
- 特別支援学級在籍者だけでなく、通常学級に在籍する特別な支援が必要な児童の把握に努め、個別の指導計画や支援計画の作成に努める。
- 交流学习を推進する。

(3) たくましい子の育成と安全・安心な学校づくり

- 夢をもち、目標をもたせる指導を充実する。
- 人権意識の高揚を図り、いじめを見逃さない環境をつくる。
- 潜在危険に気づかせ実践的な安全指導を充実する。(生活安全、交通安全、災害安全)
 - ・学級での指導 ・街頭での安全指導 ・地区児童会での安全指導
 - ・交通安全教室での指導 ・校外学習を通しての積極的な安全指導
 - ・避難訓練(地震・津波、不審者侵入、火災)
- ☆津波想定では、屋上避難場所への避難訓練、救命胴衣の着用訓練を実施する。
- 保健指導を充実する。(保健主事・養護教諭と学級担任との連携)
 - ・健康管理の指導、歯磨き指導、心の健康の指導、フッ化物洗口実施
 - ・養護教諭と学級担任との協力的授業
 - ・養護教諭、保健主事の作成資料に基づく学級担任の指導
- ☆保健調査に基づく園小中一貫教育のもとでの推進
- 食に関する指導を充実する。
 - ・ランチルームでの給食指導と望ましい食習慣
 - ・学級活動や教科指導(家庭科、体育、理科)等の関連
- 体育、体育的行事を充実する。
 - ・運動会、向寒マラソン、いちまつチャレンジ(業間休みの活動)
- 部活動等を充実する。
 - ・陸上競技・金管
 - ・防災クラブの実践内容を校内に広め、外部と連携を図る。

(4) 長生村に生きる子どもを育てる教育活動と社会の変化に対応した教育の推進

- 園小中一貫教育を推進する。(園・中との実践的接続の強化)
- 福祉教育推進校として創造性をもって推進していく。
- 地域への発信、感謝、貢献活動(社会に開かれた教育課程、教育の日)
- 地域人材の活用を図る。・ゲストティーチャー ・読み聞かせ ・地域の防災
- 国際教育の推進とICTを活用した授業。プログラミング学習の充実。
- PTAや地域との連携。
- 学校評価やアンケートを生かして家庭や地域から信頼される学校づくりに努める。
- 学校教育目標とその具現化について、保護者に説明する。
- モラルアップ委員会を計画的に開催する。
- 課題を踏まえ、日常の実践や授業研究を通して組織的、継続的に進める。
- 授業等の公開、情報の提供を積極的に行い、学校公開を一層推進する。
 - ・各たより等の発行と授業参観日、保護者面談日、学級懇談会などの設定
- 危機管理機能を充実し、地域と連携した安全・安心な学校づくりに努める。
- 校内美化と施設・設備の改善充実・学校花壇

4 児童数 (令和6年4月1日現在)

(単位：人)

学年 性別	学年組						ときわ	ときわ	計
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1組 (知)	2組 (情)	
男	6	11	8	9	6	11	1	2	54
女	6	9	11	9	13	7	1	1	57
計	12	20	19	18	19	18	2	3	111
家庭数	8	9	14	15	18	18	2	3	87

